

## 中学校英語スピーキングテスト（令和2年度 確認プレテスト①）採点基準

### ■ コミュニケーションの達成度(Part B, Part C, Part D)

	×(0)	○(1)
Part B	<ul style="list-style-type: none"> <li>各設問の問いかけに応じた内容を伝えることができていない。</li> <li>相手に適切な行動を促すことができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各設問の問いかけに応じた内容を伝えることができています。</li> <li>相手に適切な行動を促すことができています。</li> </ul>
Part C	<ul style="list-style-type: none"> <li>各コマのイラストの内容（事実）を伝えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各コマのイラスト（事実）の内容を伝えることができています。</li> </ul>
Part D 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見（自分の考え）を伝えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見（自分の考え）を伝えることができています。</li> </ul>
Part D 理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見（自分の考え）をサポートする理由を伝えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見（自分の考え）をサポートする理由を伝えることができています。</li> </ul>

※問題趣旨に沿って解答できていれば、解答は単語・センテンスのどちらでもよいとする。  
 ※各コマのイラストについて判断する。

### ■ 言語使用 (Part C, Part D)

×(0)	△(1)	○(2)	◎(3)	◎◎(4)
<ul style="list-style-type: none"> <li>求められている解答内容から明らかに外れている。</li> <li>英語ではない、あるいは、英語として通じない。</li> <li>力を測るための十分な量の発話がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙や文構造及び文法の使い方に誤りが非常に多い。</li> <li>使用している語彙や簡単な表現の幅が限られているが、簡単な接続詞を使って、単語や語句をつなげることができる。</li> <li>簡単な事柄なら言い表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な語彙や文構造及び文法の使い方に誤りが多い。</li> <li>使用している語彙や文法の幅が限られているが、簡単な接続詞を使って、アイデアをつなげたりすることができる。</li> <li>簡単な描写を羅列することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な語彙や文構造及び文法の使い方が正確である。</li> <li>複雑な内容を説明するときに誤りが生じるが、幅広い語彙や文法を使用し、アイデアを伝えることができる。</li> <li>簡単なアイデアを順序立ててつなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙や文構造及び文法の使い方が非常に正確であり、誤解を生むような文法の誤りや、コミュニケーションを阻害するような語彙の誤りもない。</li> <li>豊富で幅広い語彙や文法を、柔軟に使用することができる。</li> <li>アイデア間の関係性を整理して伝えることができる。</li> </ul>

### ■ 発音・流ちょうさ (Part A, Part C, Part D)

×(0)	△(1)	○(2)	◎(3)
<ul style="list-style-type: none"> <li>求められている解答内容から明らかに外れている。</li> <li>英語ではない、あるいは、英語として通じない。</li> <li>力を測るための十分な量の発話がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発音、語や句、文における強勢、イントネーションやリズムが、母語の影響を非常に強く受けている。</li> <li>簡単な単語や語句の強勢は適切であるが、全体を通して発音の誤りが生じ、抑揚がほとんどない。</li> <li>不自然な間（ま）や沈黙が多かったり、話についていくのが難しいほど沈黙が長かったりする。言いよどみが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発音、語や句、文における強勢、イントネーションやリズムが、母語の影響を強く受けている。</li> <li>発音は概ね理解できるが、強勢、リズムや抑揚が、聞き手に混乱をもたらすことがある。</li> <li>不自然なところに間（ま）や沈黙があったり、不自然に長かったりするが、話についていくことは可能な程度である。言いよどみがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発音、語や句、文における強勢、イントネーションやリズムが、母語の影響を受けている場合があるが、概ね正しい。</li> <li>発音は概ね正しく、強勢、リズムや抑揚が、聞き手に混乱をもたらすことはない。</li> <li>言葉や言い回しを考えたり、言い直したりするために、間（ま）を取ることがあるが、発話中の間（ま）は、概ね自然なところにあり、不自然に長くない。</li> </ul>